

【第10回】

**東京都太陽光発電設備
高度循環利用推進協議会**

2026年2月10日（火）

15：00～

本日の次第

1. 開会挨拶
2. リサイクル施設の追加公募について
3. リサイクル補助について
4. リサイクル設備導入補助について
5. リサイクル補助P R 動画
6. ソーラーウィーク2025
7. 首都圏リサイクル施設の紹介
 - ・ 株式会社浜田
8. 情報提供
 - ・ 国の動き（リサイクル法制度案）
 - ・ 国の動き（ガラスtoガラス技術開発委託事業）

協議会委員

区分	団体名	役職・氏名（敬称略）
メンテナンス業者・ 検査修理業者	一般社団法人 日本太陽光メンテナンス協会	幹事 増田 幹弘
	一般社団法人 新エネルギーO&M協議会	専務理事 大門 敏男
取外し・解体業者	一般社団法人 東京建物解体協会	副会長 高橋 仁
収集運搬業者・ リサイクル業者	一般社団法人 東京都産業資源循環協会	株式会社浜田 O&M技術開発部長 浪越 悠介
		株式会社リーテム エコマネジメントユニット長 山崎 隆久
リユース業者		株式会社エヌ・ピー・シー 環境関連営業部環境営業グループ 部長補佐 宇田 賢司
		丸紅株式会社 電力・インフラ国内サービス事業部部長代理 新井 信行
ハウスメーカー	一般社団法人 住宅生産団体連合会	積水ハウス株式会社 ESG経営推進本部環境推進部課長 村井 孝嗣
モジュールメーカー	一般社団法人 太陽光発電協会	シニアアドバイザー 西堀 仁
販売・施工業者	一般社団法人 日本PVプランナー協会	常務理事兼事務局長 大槻 浩之
オブザーバー	川崎市	

リサイクル施設の追加公募について

太陽光パネルを適正にリサイクルできる施設を追加公募

1 公募の対象

次の要件をすべて満たす産業廃棄物中間処理業者

- (1) 首都圏に所在する施設において、表1に記載する方法で、シリコン系の使用済住宅用太陽光パネルのリサイクルを行うことができる者
- (2) 表1に記載する方法で、令和2年4月1日から申請日の前月末までの期間において、首都圏で使用済太陽光パネルの中間処理を1年以上行った実績がある者

表1 リサイクルの方法

太陽光パネルを構成する素材	処理方法	再生利用率
アルミ及びガラス	アルミ及びガラスを分離して、アルミ及びガラスについて、それぞれ再生利用を行う。	再生利用と熱回収の再生利用と熱回収の合計の重量が、使用済住宅用太陽光パネルの総重量の80%以上となるように処理を行うこと。 ただし、熱回収に算入できる重量は、使用済住宅用太陽光パネルの総重量の20%までとする。
セル、封止材、バックシート	アルミ及びガラスを分離した後のセル、封止材及びバックシートについて、次のいずれかの方法により処理すること。 (ア) 有用金属の再生利用（非鉄金属精錬業者への引渡し） (イ) 溶融処理によるスラグの再生利用 (ウ) 熱回収施設における熱回収	

2 公募期間

令和7年6月2日から令和7年11月7日まで

リサイクル施設の追加公募について

令和7年度は新たに2つの施設を指定

指定年度	事業者		施設所在地
R5年度	①	株式会社ウム・ヴェルト・ジャパン	埼玉県大里郡寄居町
	②	環境通信輸送株式会社	茨城県牛久市
	③	東京パワーテクノロジー株式会社	神奈川県川崎市
	④	株式会社浜田	東京都大田区
	⑤	水海道産業株式会社	茨城県常総市
	⑥	株式会社リーテム	茨城県東茨城郡茨城町
R6年度	⑦	株式会社アロウズ	茨城県筑西市
	⑧	J & T 環境株式会社	群馬県伊勢崎市
R7年度	⑨	株式会社杉浦土木	埼玉県行田市
	⑩	株式会社国際資源リサイクルセンター	栃木県芳賀郡

指定時期

7月

12月

都が指定する首都圏のリサイクル施設数

R5年度	R6年度	R7年度
6か所	8か所	10か所

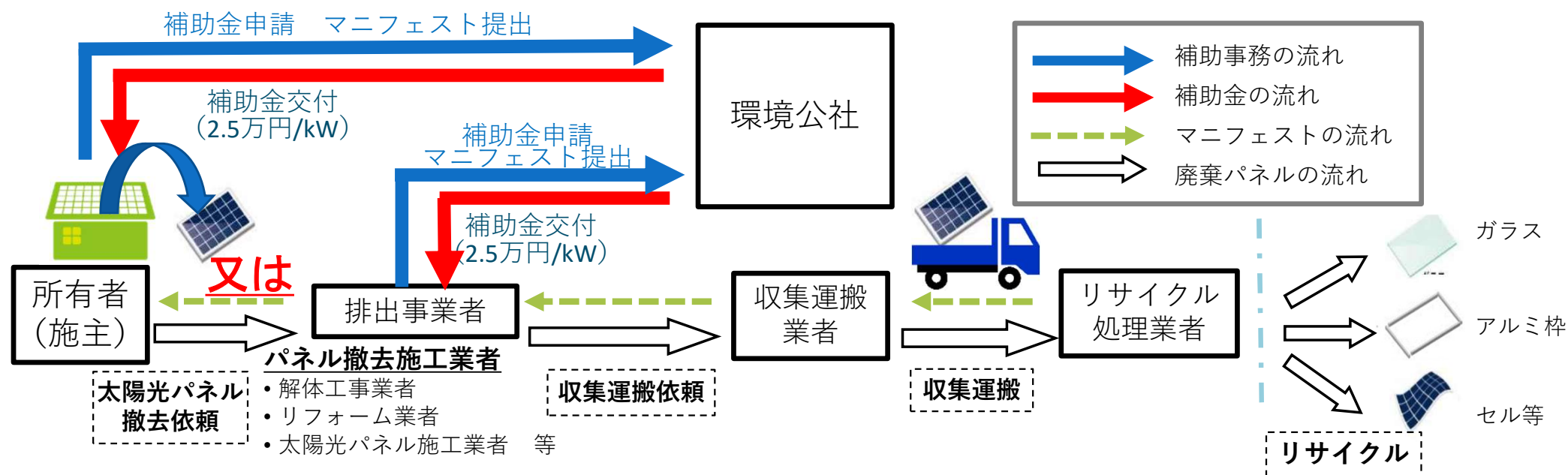


⇒ 令和8年度も、リサイクル施設を公募予定

リサイクル補助について【使用済住宅用太陽光パネルリサイクル促進事業】

リサイクルに要する費用の一部を補助

補助対象者	都内の住宅から排出される使用済住宅用太陽光パネル（発電出力50kW未満）をリサイクルするために、都が指定するリサイクル施設に、太陽光パネルの処理の委託を行う排出事業者、又は所有者
補助金額	25,000円/kW
期間	令和5年6月1日～令和9年9月30日まで



都に登録のある解体工事業業者（2,300 社）へリーフレット送付（令和8年1月）

リサイクル補助実績

R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
8 件	6 件	1 6 件

※ R 7 年度は 1 月末の件数

リサイクル設備導入補助について【高度再資源化設備導入促進事業】

R 8 年度より都単独補助を拡充

高度再資源化設備導入促進事業【環境】

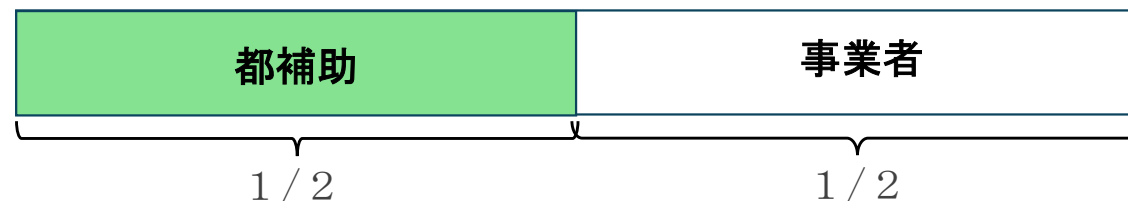
⑧ 3 億円（⑦ 2 億円）

高いリサイクル率での高度再資源化に取り組む事業者への都単独補助制度を拡充し、都内における太陽光パネルのリサイクル等を一層促進

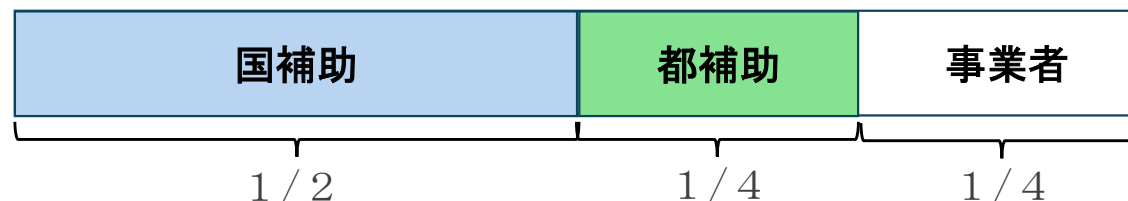
（国補助：国1/2・都1/4・事業者1/4、都単独補助：都1/2・事業者1/2）

東京都予算案の概要（1月30日公表）より

都単独補助のイメージ



国補助併用のイメージ



東京都は住宅用太陽光パネルの リサイクル費用を補助しています



kWあたり 2万5千円

詳しくは

東京都 太陽光 リサイクル補助

🔍 検索



リサイクル補助P R動画

S N S や電車広告などの媒体を活用してP R動画を発信

S N S 等

HP、X、FaceBook等への掲載
東京都環境公社の媒体も活用



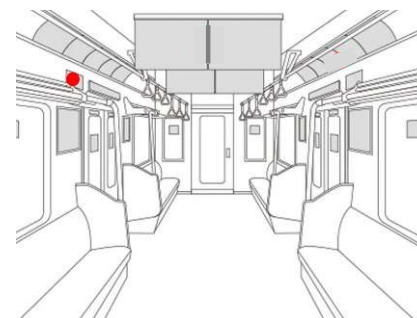
環境局 X



環境局 FaceBook

電車広告

都営地下鉄、東京メトロ、J R等の車内メディア



サイネージ

抽選で掲載無料の場所なども活用



ソーラーウィーク2025

ソーラーウィーク2025において、リサイクルをテーマとしたセミナーを実施

テーマ：適正処理・リサイクル 政策動向 及び
『取り外し～収集・運搬～リサイクルの現状と課題』

日時：令和7年11月10日（月）9：30～12：00

セミナー形式：オンライン

時間	講演タイトル	講演者
9:30～ 9:50	地域と共生した再エネの導入に向けた取組 及び太陽光パネルのリサイクルの推進	経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー課 課長補佐 末澤 理希 様
9:50～ 11:20	東京都の太陽光パネルリサイクルの取組	東京都 環境局 資源循環推進部 資源循環調整担当課長 山中 敏晃
	今後の太陽光パネルに関する課題・問題点等について	一般社団法人東京建物解体協会 副会長 高橋 仁 様
	太陽光パネルスマート回収システムの概要及び 太陽光パネルの収集・運搬にかかる課題について	公益財団法人福岡県リサイクル総合研究事業化センター プロジェクト推進班長・企画主幹 田尻 興保 様
	太陽光パネルのリサイクルの現状と課題 ～水平リサイクルへの取り組み～	株式会社浜田 代表取締役 濱田 篤介 様
	太陽光パネル由来のガラスカレットの 板ガラス向けリサイクルの取組状況・課題	AGC株式会社 建築ガラス アジアカンパニー 技術・製造統括部 生産技術・管理グループ フラットガラス管理チーム 兼 フラットガラス開発 チームマネージャー 竹本 智典 様
11:20～ 12:00	登壇者によるディスカッション ＜モデレータ＞ 一般社団法人太陽光発電協会 シニアアドバイザー 西堀 仁 様	

株式会社 浜田様 資料

太陽光パネルのリサイクル法制度案

R8.1.23 太陽光発電設備
リサイクル制度小委員会資料抜粋

太陽光パネルリサイクル推進に向けて

まずは効率的にリサイクルが実施可能な**多量の事業用太陽電池廃棄物の排出者等に対する、新たな法制度による規制の導入（判断基準に基づくリサイクルの取組を義務付け）**と、技術開発・設備導入等の予算措置や既存制度により、**リサイクル費用の低減・体制整備**を図り、2030年代後半以降に見込まれる大量廃棄に備えて**規制を段階的に強化**した上で、**太陽光パネルの幅広い排出者等へのリサイクル義務化**を目指す。

新たな法制度案

①国による基本方針の策定

- 各主体の役割、リサイクル目標、施設整備の促進、費用低減・技術開発等の施策の方向性の明示

②多量の事業用太陽電池廃棄物の排出者等への規制

- 国が定める判断基準（段階的に強化）に基づくリサイクルの取組を義務付け（指導・助言、勧告・命令）
- 排出実施計画の事前届出義務

※指導・助言は全ての事業用太陽電池廃棄物の排出者等が対象

③費用効率的なリサイクルを促進するためのリサイクル事業者への措置

- 効率的なリサイクル事業者を認定し、都道府県ごとの廃棄物処理法の許可を不要とする特例措置、保管基準の特例措置等
- リサイクルの技術開発・施設整備等の財政上の措置

④製造業者等に対する措置

- 環境配慮設計の実施等の責務
- 含有物質に関する情報提供等の措置

⑤制度の見直しに向けた検討

- 埋立処分場の残余容量、リサイクル費用の状況等を勘案して、**太陽光パネルの幅広い排出者等を対象とした義務付け**を検討し、制度を見直し

※公布から1年半以内の施行を予定

既存制度、財政支援等

リサイクル費用低減・体制整備に係る措置

- ① リサイクル費用低減に向けた技術開発支援
- ② リサイクル設備の導入支援
- ③ 再資源化事業等高度化法に基づく対象設備の認定
- ④ 再生材の売却益向上に資する技術実証
- ⑤ 収集運搬の効率化の実証、保管施設の導入支援
- ⑥ リサイクルに取り組む太陽光発電事業者からの電力調達の促進（環境配慮契約法等での検討）

製造業者等の取組促進に係る措置

- 資源有効利用促進法の判断基準に基づく環境配慮設計の推進

不適正処理・不法投棄対策等

- ① 不適正処理・不法投棄対策の徹底（廃棄物処理法）
- ② 再エネ特措法に基づく廃棄等費用積立制度の着実な実施
- ③ 適正なリユースの推進（ガイドラインの改訂）

太陽光パネルのリサイクル法制度案

R8.1.23 太陽光発電設備
リサイクル制度小委員会資料抜粋

新たな法制度案

②多量の事業用太陽電池廃棄物の排出者等への規制

- 使用済太陽光パネルの排出等※をしようとする者（①）をリサイクルの取組の主体と位置付ける。
- そのうち、収益事業に使用した使用済太陽光パネルの排出等をしようとする事業者（②）について、リサイクルの実施に向けて取り組むべき措置に関して国が判断基準を定め、指導・助言の対象とする。
- さらに、効率的にリサイクルを実施可能な、多量の使用済太陽光パネルの排出等をしようとする事業者（③）に対しては、排出実施計画の事前届出義務、国による勧告・命令を措置することで、判断基準に基づくリサイクルの取組を義務付けることとする。

措置対象者の分類	対象となる規制措置等				
	リサイクルの取組に係る責務	判断基準に基づく取組の実施	判断基準に基づく指導・助言	排出実施計画の届出義務	届出に係る勧告・命令
① 使用済太陽光パネルの排出等※をしようとする者 （太陽光発電設備の解体・撤去及び廃棄を自ら行う者又は解体業者等に発注する者）	○	—	—	—	—
② ①のうち、収益事業において使用した使用済太陽光パネルの排出等をしようとする者（太陽光発電事業者、工場・事業所に太陽光パネルを設置する事業者、住宅の屋根に設置した太陽光パネルを用いて売電する者等を想定）	○	○	○	—	—
③ ②のうち、多量の使用済太陽光パネルの排出等をしようとする者（多量に排出等をする太陽光発電事業者等を想定）	○	○	○	○	○

※「排出等」とは、排出又は太陽光発電設備からの取り外しに係る工事若しくは作業の発注をいい、他の者から当該工事又は作業を受注して行う排出を除く。本資料を通じて同様。

令和7年度補正国内資源循環体制構築に向けた再エネ関連製品及びベース素材の全体最適化実証事業の公募（令和8年1月23日発表）

○太陽光パネルのリサイクル推進を目的として、動静脈連携による太陽光パネル由来のガラスの水平リサイクルの技術開発により、再生ガラスの品質向上を行うことで、未利用資源の活用体制構築を促進する実証（委託事業）を行うもの

■予算

1件あたり上限1億円（税込）

■事業実施期間

原則として、事業採択後の契約締結日から令和9年3月末まで

■公募のスケジュール

- ・ 公募の開始 : 令和8年1月23日（金）
- ・ 質問受付締切 : 令和8年2月6日（金）
- ・ 申請書提出締切 : 令和8年2月13日（金）
- ・ 評価審査委員会の開催 : 令和8年3月上旬～中旬（予定）

太陽光パネルリサイクル事業紹介



会社紹介



経営理念

誠実・感謝・感動

パーパス

環境課題を価値に転換し世界をインスパイアする

経営ビジョン

「誠実・感謝・感動」をモットーに
環境ソリューションのファーストコールカンパニーになる

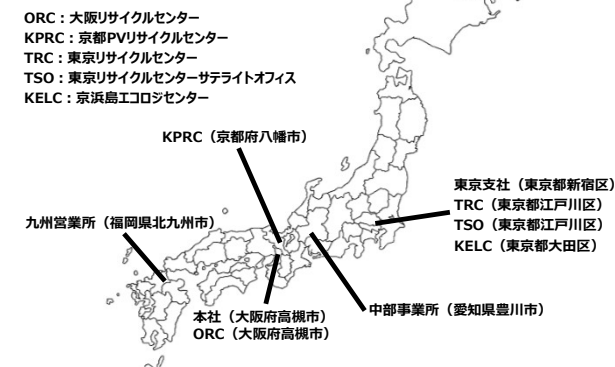
事業内容



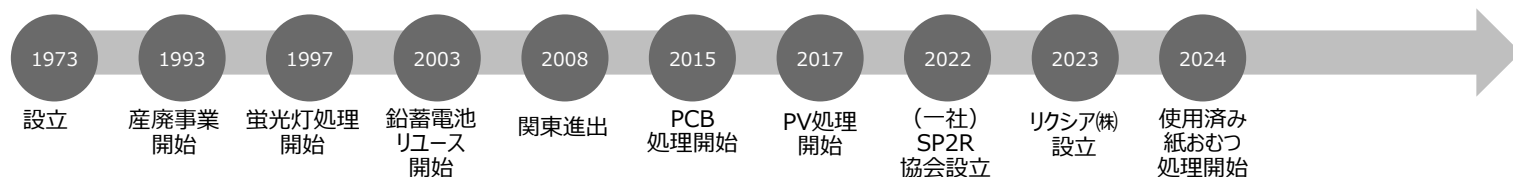
会社概要

商 号 | 株式会社浜田
本社所在地 | 大阪府高槻市真上町2-2-30
資 本 金 | 3,000万円
設 立 | 1973年11月8日
従 業 員 数 | 197名 (2025年9月1日時点)
売 上 高 | 41.6億円 (2025年7月期)
代 表 者 | 代表取締役 濱田 篤介

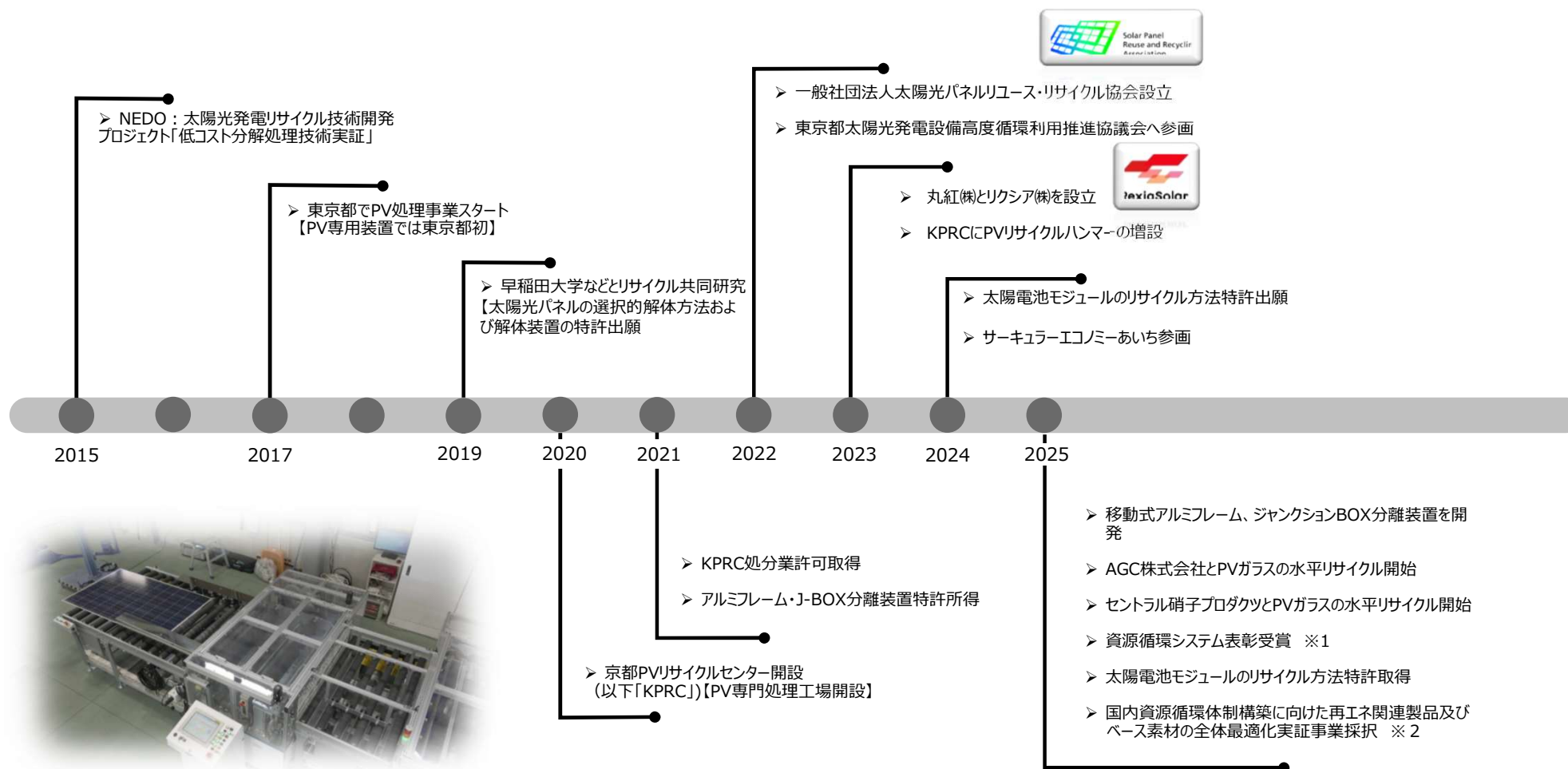
拠点



沿革



太陽光パネル2R事業の取り組み



※1 一般社団法人産業環境管理協会資源・リサイクル促進センター
 ※2 公益財団法人 廃棄物・3R研究財団

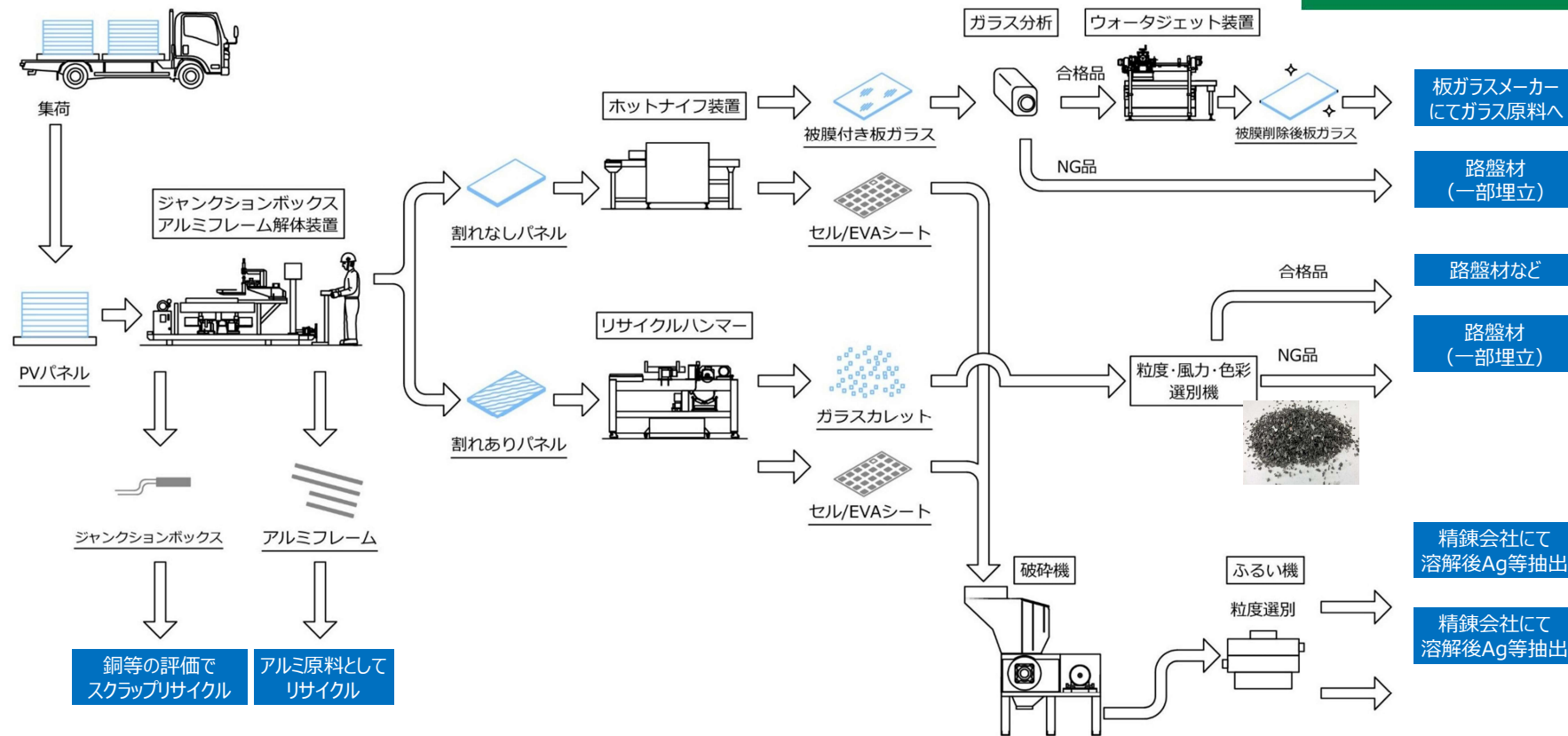
PVパネルの処理方法の分類とそれぞれの特徴



処理方法 区分	処理機 / 処理技術	メーカー・開発者	処理技術の特徴	処理後のガラス	1 台あたり能力
① 切断	ホットナイフ処理	株式会社エヌ・ピー・シー	<ul style="list-style-type: none"> 約300℃に加熱したナイフでEVAを溶融し、ガラスを割らずに、その他の部材と分離する。 	<ul style="list-style-type: none"> 板状で回収 ガラス側のEVA残膜厚は0.1mm以下 	約10.8 t / 日
② 熱処理	熱分解処理方式	株式会社新菱	<ul style="list-style-type: none"> 窒素雰囲気での分解炉でEVAを熱分解し、発生したEVA分解ガスを、大気雰囲気での燃焼炉でLPGバーナーによって焼却する2段階処理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 板状で回収 ガラス品位99.999% 	約16.2 t / 日
③ ガラス破碎	ブラスト工法	未来創造株式会社	<ul style="list-style-type: none"> 粒状の投射材料を圧縮エア又はモーター駆動によってカバーガラス表面に噴きつけ、カバーガラスを剥離する。 	<ul style="list-style-type: none"> 粒状で回収 剥離したカバーガラスとブラスト材は、ふるい装置で分別され回収 	約2.4 t / 日
	ガラスわーける皿型	廃ガラスリサイクル事業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ローラーで大きなガラス片を剥離して、ブラシで、細かいガラスや導線、発電セルなどをそぎ落とす。 剥がしたガラスなどは、ベルトコンベヤーで運び、ホッパーで一時的に保管する。 	<ul style="list-style-type: none"> 粒状で回収 一体化した分別工程で、風力選別、色選別、金属検知器を経て各種素材に分別し、ガラス精製システムにより異物を除去する 	約9.6 t / 日
	ReSola	近畿工業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ロール型圧縮破碎に数回通して、ガラスを除去する。 	<ul style="list-style-type: none"> 粒状で回収 ガラスの85～90%を回収 	約4.8 t / 日
	PVリサイクルハンマー	株式会社チヨダマシナリー	<ul style="list-style-type: none"> 回転リサイクルハンマー打撃工法により、加熱したパネルをハンマーで打撃することでガラスを破碎する。 	<ul style="list-style-type: none"> 粒状で回収 1 回の処理でほぼ完全にガラスを分離可能 	約4.8 t / 日

出所：中央環境審議会循環型社会部会太陽光発電設備リサイクル制度小委員会

処理プロセス



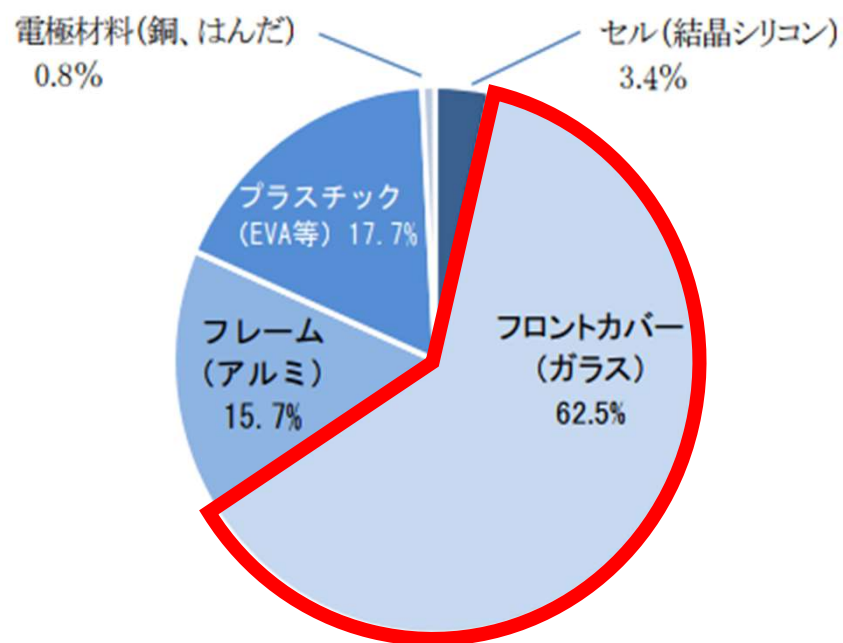
太陽光パネルの
処理後ガラス高度リサイクルによる
持続可能な社会への実現に向けた新技術

株式会社浜田 (大阪府高槻市)

太陽光パネルの重量比とガラスリサイクル用途



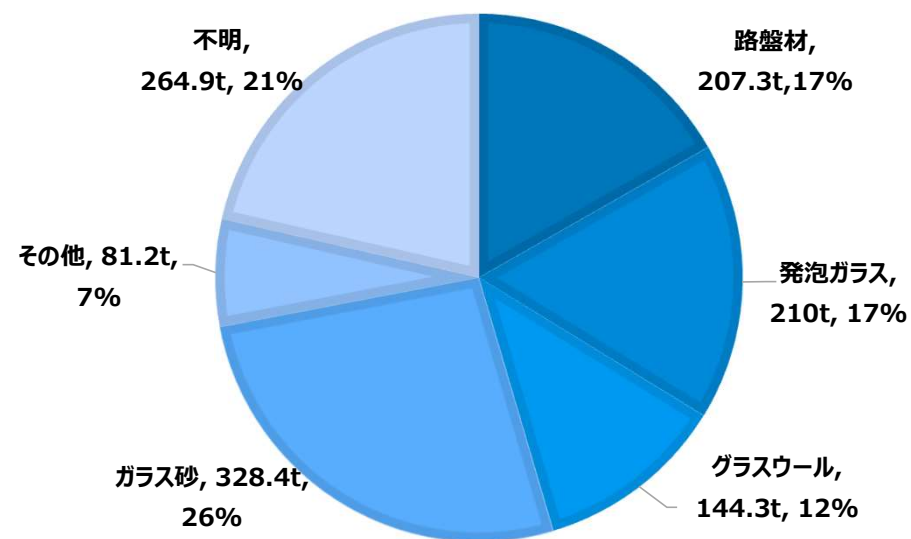
■ 太陽光パネルの重量構成比



引用：太陽光発電開発戦略2020（NEDO PV Challenges 2020）

太陽光パネルの約**6**割をガラスが占める

■ PVガラスのリサイクル用途割合



出所：令和6年度使用済再生可能エネルギー発電設備のリサイクル等の推進に係る調査・検討業務 より(株)浜田作成

現状、ガラスのリサイクル先は土木資材が主流

リサイクルカレット利用用途の現状

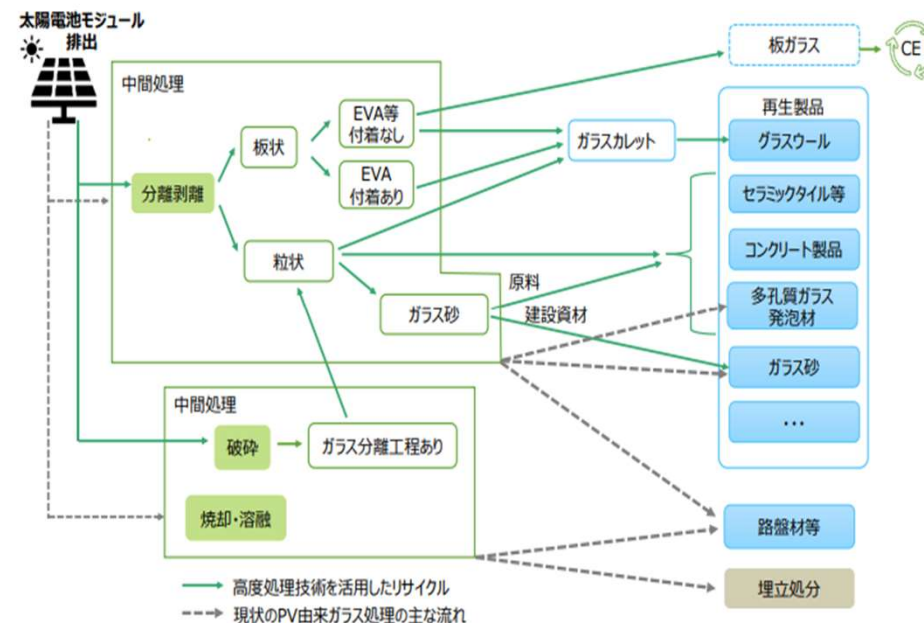


- グラスウールはすでにリサイクルカレットの使用率が高い
→ 太陽光パネルを受入キャパは少ない（組成調整など少なからず生原料の使用は必要）

リサイクル原料・再生材の使用比率の向上



※2：旭ファイバーグラス(株) <https://sdgs.afgc.co.jp/sustainability-03/index.html>



引用：令和3年度使用済太陽電池モジュールのリサイクル等の推進に係る調査

リサイクルカレットの受入規格



■ PVガラスの高度利用するため、水平リサイクルできる受入規格は？

種類	異物	サイズと許容濃度	
有機化合物	フィルム、紙、ゴム、木片等	10mm未満 20ppm未満	10mm以上 無いこと
砂利、セラミック、セメント等		0.5mm未満 10ppm未満	0.5mm以上 無いこと
鉄片	ステンレスを除く	1mm未満 10ppm未満	1mm以上 無いこと
非鉄金属類	アルミ、ステンレス等	無いこと	

出典：AGC 板ガラスのリサイクルの現状と課題より、(株)浜田作成

既存処理設備での樹脂残存量

依頼品名	WJ未処理
乾燥後重量(g)	41.3284
強熱後重量(g)	41.2854
減量(g)	0.0430
有機物量(ppm)	4084.50

引用：東京都産業技術研究所テスト依頼試験結果より

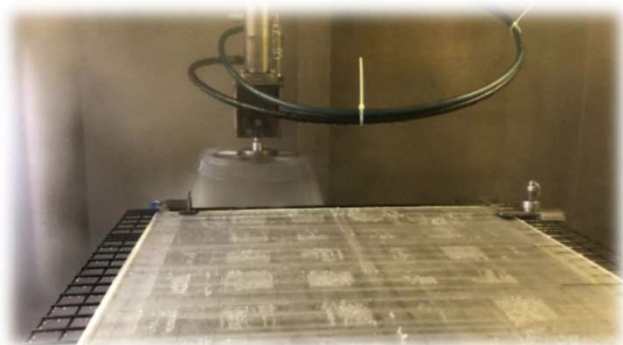
既存処理設備だけではガラス分離できても
板ガラスでの利用は出来ない。

ウォータージェット工法



■ ガラスの高度利用するための有機物除去プロセス

ウォータージェット工法



写真提供：(株)スギノマシン

【特許】

発明の名称:「太陽電池モジュールのリサイクル方法」
特許番号:特許第7765110

依頼品名	サンプル①	サンプル②
強熱前重量(g)	39.8558	40.1399
強熱後重量(g)	39.8556	40.1398
減量(g)	0.0002	0.0001
減少率 (%)	0.001980	0.001060
有機物量(ppm)	19.80	10.60

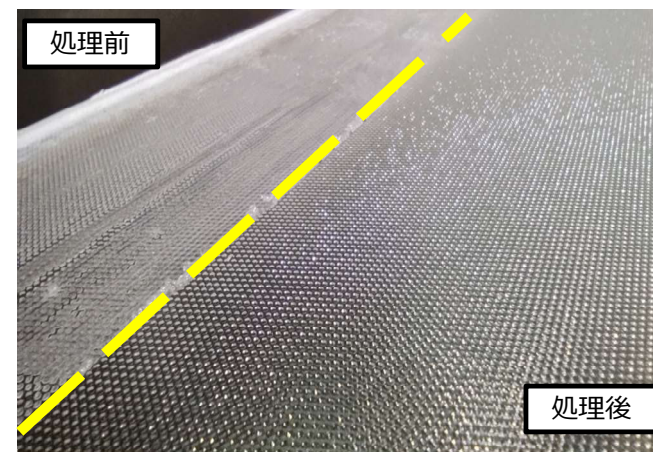
引用：東京都産業技術研究所テスト依頼試験結果より

- 特に難しいのがガラスの表面に凸凹なエンボス加工が施されており、その溝の中に有機物が残ってしまう。今回の技術を使用すれば、それらも綺麗に除去が出来た。

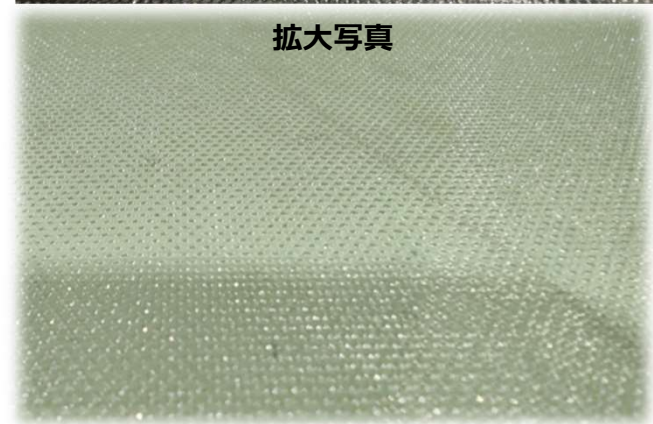
分析結果

処理後のPVガラスにウォータージェット工法を施すことで、残存有機物量が**10～20ppm**以下まで除去ができた。そのため、板硝子協会の受入基準に**適合し水平リサイクルが可能**となった。

ウォータージェット工法を施したPVガラス比較写真



拡大写真



水平リサイクルの実用試験



■ ウォータージェット処理後のガラス実用性確認

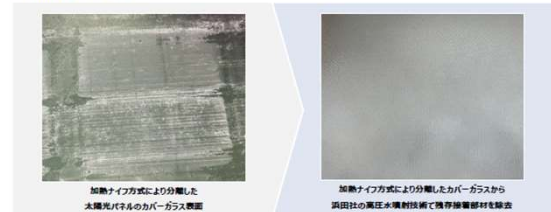


News Release

2025 年 4 月 25 日

国内初 ハイブリッド方式による 太陽光パネルカバーガラスの板ガラス向けリサイクルの実用化開始

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：平井良典）は、太陽光パネルカバーガラスの板ガラス向けリサイクルにおいて、国内初となるハイブリッド方式での実用化を開始しました。今回の取り組みでは、加熱ナイフによる分離方式と、株式会社浜田（本社：大阪府高槻市、以下 浜田社）の高圧水噴射技術を組み合わせることで、板ガラス向けの水平リサイクル^{*1}を実現しました。



太陽光パネルの耐用年数は 20～30 年とされており、2030 年代後半には国内で年間数十万トンにのぼる廃棄が見込まれています。このような状況下で、太陽光パネルカバーガラスの水平リサイクルは重要な課題となっています。しかし、板ガラス向けのケット（ガラス塵材）は品質要件が厳しく、これまでに実用性が確認されたカバーガラスの分離方式は、加熱処理方式^{*2}に限られていました。適用が困難とされていたもののうち、加熱ナイフ方式については、ガラス表面の残存接着部材が問題となっていました。

今回、加熱ナイフ方式で浜田社の高圧水噴射技術を組み合わせ、残存する接着部材を完全に除去することで、精製されたケットの品質基準が板ガラス原料として活用可能であると確認されました。

このケット約 10 トンを原料の一部として、2025 年 4 月にAGC横浜テクノロジセンターにおいて建築用型ガラスを製造しました。これにより、すでに実用化されている加熱処理方式に加えて、新たな太陽光パネルカバーガラスの水平リサイクル方式が確立されました。今後は、より多くの太陽光パネルカバーガラスの板ガラス向けリサイクルを推進し、2030 年までに年間数千トンのリサイクル体制を構築します。

AGCグループの中期経営計画「AGC plus-2026」では、当グループが提供する 3 つの社会的価値を示しています。このうち「Blue Planet」では、資源の有効利用を重要機会とらえ、ガラスの水平リサイクル拡大を通じて持続可能な地球環境の実現に貢献します。

【本件に関するお問い合わせ先】
AGC 株式会社 広報・IR 部
TEL: 03-3218-5603 [お問い合わせフォーム](#)

引用：AGC News Release

太陽光パネルカバーガラスの水平リサイクルを開始

セントラル硝子プロダクツ株式会社（以下、CGP 本社：三重県松阪市、代表取締役社長：川瀬将昭）は、株式会社浜田（以下、浜田 本社：大阪府高槻市、代表取締役：濱田篤介）にて、ホットナイフ式^{*1}で分離・回収された使用済み太陽光パネルのカバーガラス 20 トンを原料の一部とした網入り磨き板ガラスの試験生産に成功し、6 月より継続的な水平リサイクル^{*2}を開始いたしました。

これまで、カバーガラスの板ガラス向けリサイクルは、品質要件が厳しく実用化は困難とされてきましたが、CGP における成分分析とガラス溶解窯の操業管理の精度向上および投入量の最適制御により、継続的な実用化に成功しました。2025 年度のリサイクル量は 300 トンを想定しており、今後カバーガラスの回収拠点を増やし、より多くのリサイクルを推進してまいります。

日本国内において、耐用年数を経過した太陽光パネルの廃棄量は、2030 年以降年間数十万トンに達すると見込まれ、これらの廃棄処分には深刻な環境負荷が懸念されています。太陽光パネルの約 6 割はカバーガラスが占めていることから、CGP がこれらを継続的にリサイクルしていくことで廃棄物の削減に貢献してまいります。また、リサイクルにより板ガラスの製造に必要な珪砂や石灰石といった天然資源の採掘量やガラス溶解時のエネルギーが削減でき、それに伴う CO2 排出量の削減にもつながります。

セントラル硝子グループでは、板ガラスの水平リサイクルの拡大を通じ、循環型社会そしてサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

- *1 太陽光パネルからカバーガラスを加熱したナイフにより分離する技術
- *2 使用済み製品を原料として、同じ種類の製品を新たに製造するリサイクル方法



* 本件に関するお問い合わせ先
セントラル硝子プロダクツ株式会社
イノベーション推進室
TEL: 0598-53-3005
<https://www.cgprd.co.jp/contact/>

引用：セントラル硝子プロダクツ株式会社様ホームページより

News Release

2025 年 9 月 16 日
ユニチカガラスビーズ株式会社

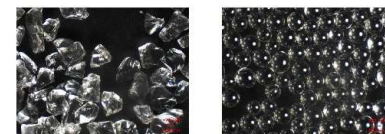
太陽光パネルカバーガラスを使用したガラスビーズの リサイクル生産技術の確立

ユニチカガラスビーズ株式会社（本社：大阪府枚方市、代表取締役社長：山田英明）は、太陽光パネルカバーガラスを使用したガラスビーズのリサイクル生産技術を確立しました。

太陽光パネルは 2030 年代半ばから国内で年間数十万トンの排出が見込まれ、最終処分における環境負荷が懸念されます。その状況下で、太陽光パネルの重量の約 6 割を占めるガラスのリサイクル促進が課題とされています。

太陽光パネルカバーガラスを使用するにあたり、従来のガラス原料と比較して不純物の付着が多くあるという課題がありました。そこで株式会社浜田（本社：大阪府高槻市、代表取締役：濱田篤介）独自のリサイクル技術により不純物が完全に除去されたケット（ガラス塵材）で品質面での課題を解決し、太陽光パネルカバーガラス由来 100% のガラスビーズの実用化の目的が立ちました。

・透過光顕微鏡写真（25 倍）



ガラスビーズの多くはリサイクルガラスを原料として利用しています。道路の白線に代表される路面標示や各種研砕材、樹脂フィラーなどに幅広く使用されています。今後さらに本ガラスビーズの活用においてお客様との連携を強化するとともに、本技術のさらなる展開に向けて、現在パートナー企業を広く募集しております。ご関心のある方はぜひお問い合わせください。

以上
※掲載されている写真は、実際の製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

< 本件に関するお問い合わせ先 >
ユニチカガラスビーズ株式会社 営業部
TEL: 072-858-1355
E-mail: info@unibeads.co.jp

引用：ユニチカガラスビーズホームページより

◆理念

2012 年の再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT制度)の開始を契機として、太陽光発電パネルの導入が急速に拡大している中、当協会では適切な使用済みパネルのリユース・リサイクル促進のため、様々な啓発活動を行う。関係省庁及び地方自治体のカウンターパートとしての役割を担うため、リユース・リサイクル業者だけでなく、発電事業者、太陽光パネルメーカー、リサイクル装置メーカー、ガラスメーカー、学術研究者などの様々な主体と連携し、課題解決に向けた幅広い活動を展開し、使用済パネルの適切なリユース・リサイクルスキーム確立することを目指す。

◆主な活動

- (1) **法整備・規制による適正処理の促進**
- (2) **新たなリユース・リサイクル技術の研究・開発**
- (3) **リサイクル資源（ガラス・バックシート等）の基準づくりと付加価値向上のための研究・開発**
- (4) **太陽光発電にかかる全てのステークホルダーによる連携**
- (5) **適切なリユース・リサイクル促進のための普及啓発活動等**

◆設立日 2022年11月1日

◆会員数 83社（2025年9月時点）

すなわち、**関係各主体が連携協力、協働することによって、使用済太陽光パネルの効率的で適正な2Rを促進する。**
つまり、**SDGsの第17番目パートナーシップ**の実現！

【参考】太陽光リユース・リサイクル協会（会員一覧）



発電事業者（7）							モジュール製造メーカー（2）		関連団体（3）				
丸紅	大和エネルギー	住友商事	UPDATER	三菱HC キャピタルエナジー	JA三井リース アセット	しがぎん エナジー	ハンファジャパン	カナディアン・ソーラー・ジャパ ン	エコスタッフ ジャパン	東京海上 日動火災保険	日本太陽光 メンテナンス協会		
EPC/O&M（9）								リユース・リサイクル機器（5）					
増商	エネテック	サニックス	藤巻建設	ENEOSリニューアブル エナジー・マネジメント	JESCO ホールディングス	TES	電源群馬	ミライト・ワン	タイガーチヨダ	ドニコインター	デンケン	フジテックス	エヌ・ピー・シー
販売事業者（10）										運搬事業者（1）		ガラスメーカー（2）	
ベストワン	セブン-イレブン ジャパン	エコシティ	昭和製線	コーユーレンティア	DMM.com	喜多機械産業	オリエント商事	グッドライフ	フジプレミアム	山九	TREガラス	AGC	
リサイクル事業者（44）													
丸山喜之助 商店	J&T環境	新菱 (リサイクルテック)	高良	アビツ	HARITA	Power eee		高俊興業	サニックス				
こっこー	アンカーネット ワークサービス	近畿電電輸送	加山興業	東芝環境 ソリューション	宮城衛生環境公社	エコテクノ (Sundoホールディングス)		野村興産	トスマク・アイ				
吉良産業	浜田	桜木総建	大坪GSI	都市資源開発	シーエナジー	啓愛社		日曹金属化学	ウム・ヴェルト・ ジャパン				
石坂産業	平林金属	共栄九州	国際資源 リサイクルセンター	ナコード	アースサポート	街クリーン		3R	耕雲商事				
丸両自動車運送	北日本環境	サキンエコリサイクル	Green prop	TRE ホールディングス	テス東北 (スバル興業)	オリックス環境		三和興業					

計83社（2025年9月1日時点）



<https://youtu.be/YkMtQpIIOVU>

